

いきいき安心プランⅥまつどの概要

(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)
令和3年度～令和5年度



令和3年度第1回松戸市高齢者保健福祉推進会議資料

いきいき安心プランⅦまつどとは？

高齢者に関する基本方針や目標を定める計画であり、
介護サービス整備や事業実施の方向性を定めるとともに、
保険料額を決定するための計画

いきいき安心プランⅦまつど

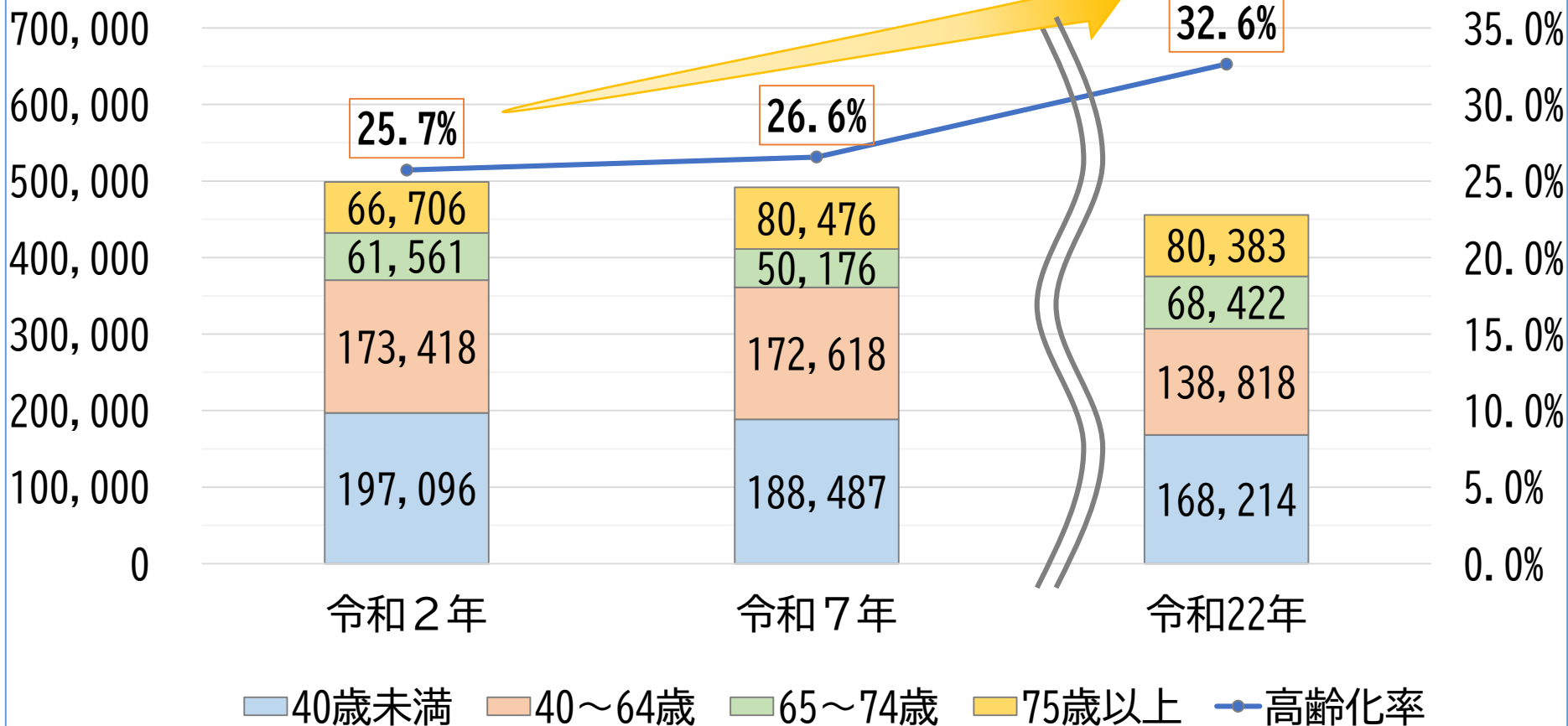
第9期
松戸市高齢者保健福祉計画

第8期
松戸市介護保険事業計画

松戸市の人口推計①

65歳以上高齢者数及び高齢化率 → 増加傾向

松戸市の人口推計と人口構成

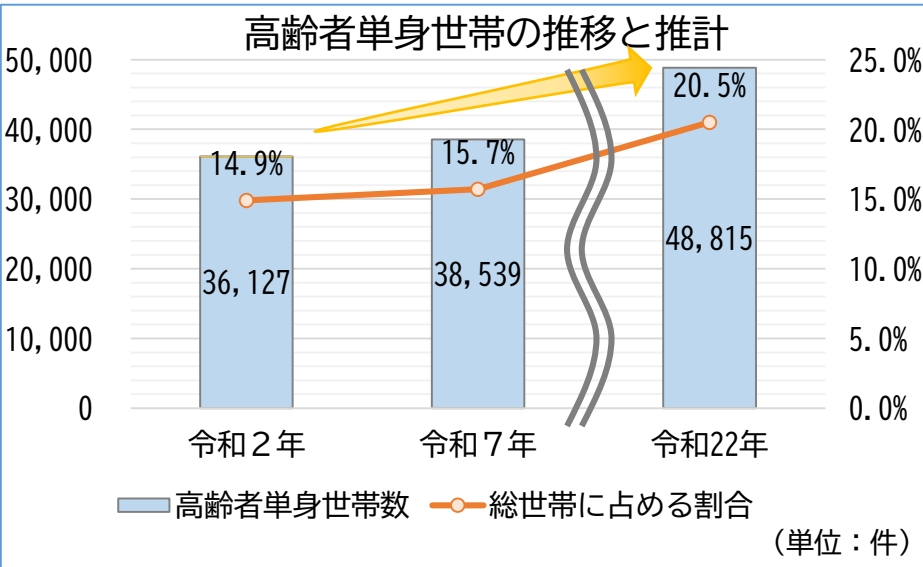


(単位：人)

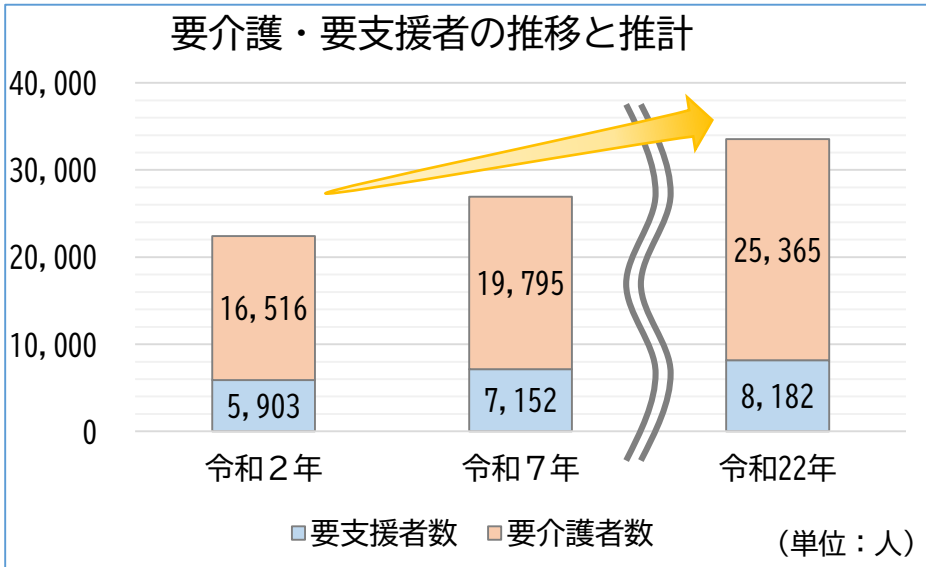
※人口推計方法・・・国立社会保障・人口問題研究所が平成30年度に推計した常住人口（直近の国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、これに、出生・死亡・転出入等の毎月の住民基本台帳の移動状況を加えて集計する人口）をベースにし、直近の住民基本台帳人口に置換える形で独自に推計しました。

松戸市の人口推計②

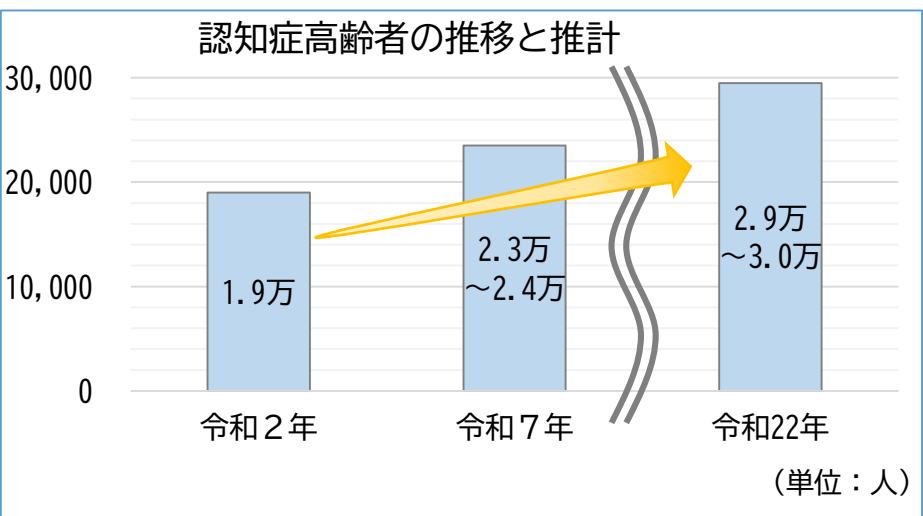
① 高齢者単身世帯の増加



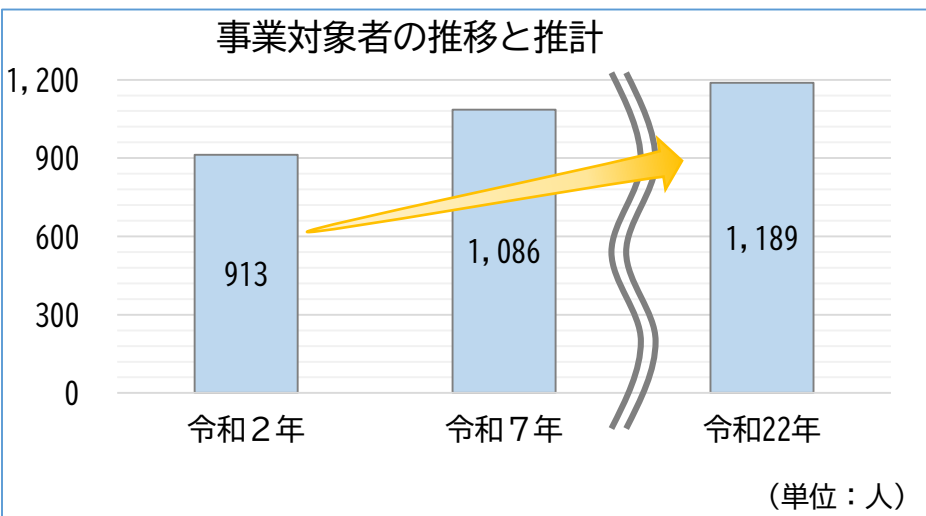
② 要介護・要支援者数の増加



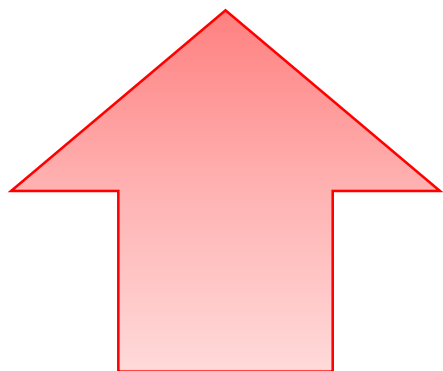
③ 認知症高齢者数の増加



④ 事業対象者数の増加



支えられる側（需要）の増加



高齢者人口
の増加

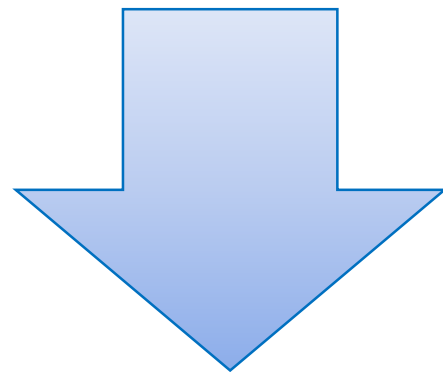
要介護認定
率の増加

単身高齢者
世帯数の増加

現役世代人口
の減少

必要な医療・介護
サービスの不足

介護人材の
不足

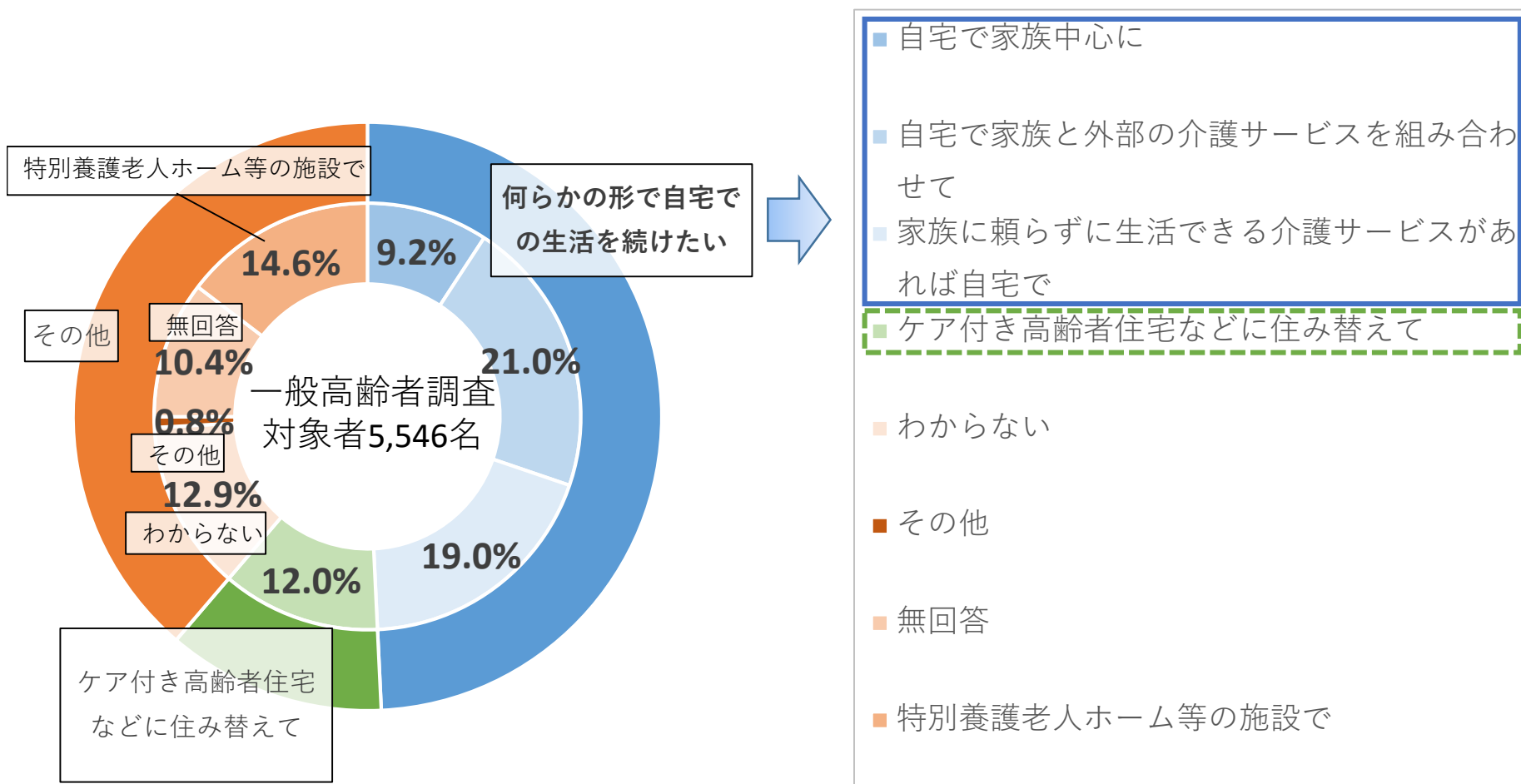


支える側（供給）の減少

アンケート調査結果①

① 希望する介護サービスについて

(介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。)

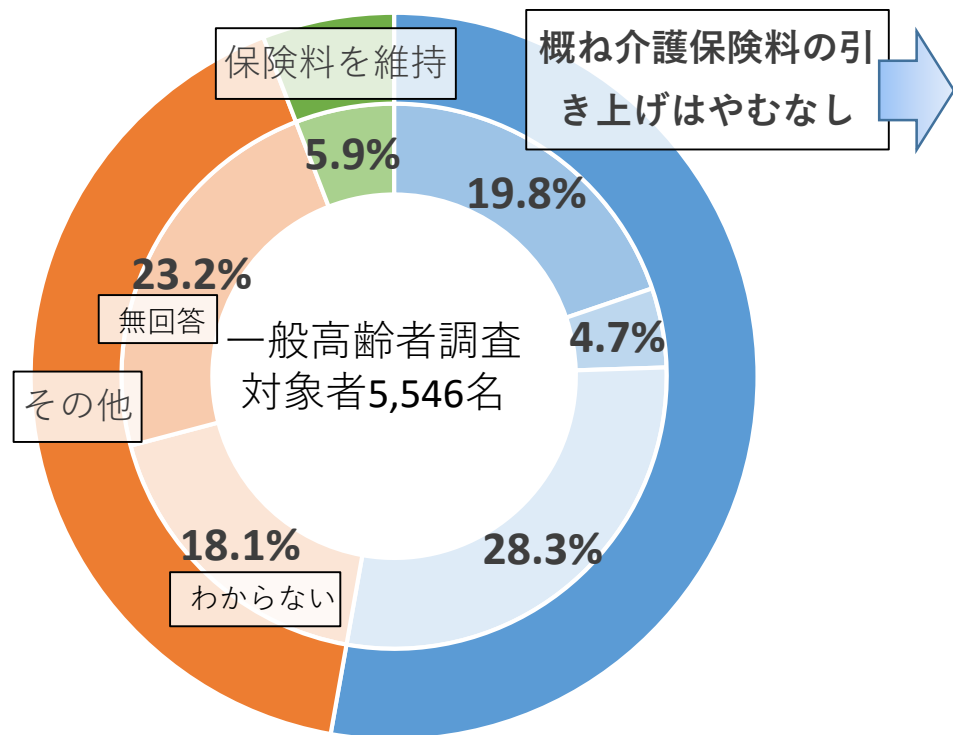


自宅での生活を続けたいという希望が**約5割**を占める。

アンケート調査結果②

② 介護サービスと保険料について

(介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどのように考えますか。)



- 現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
- 現在以上にサービスを充実するために、さらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
- 保険料負担の引上げを抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
- わからない
- 無回答
- 保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない

介護サービスの水準を維持し、充実させることを希望する声が多い。 6

いきいき安心プランⅦまつどのフレーム

2040年度

～団塊ジュニア世代が65歳を迎える 高齢者人口がピークに

『時代の変化に対応できる安定的で持続可能な社会』

2025年度

～団塊世代が全て75歳を迎える

地域包括ケアシステムの実現

2021年度
～2023年度

いきいき安心プランⅦまつど

(第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画)

- 【計画期間】 3年間（令和3年度～令和5年度）
- 【基本理念】 『高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり』
- 【計画ビジョン】 『高齢者の社会参加の促進と予防の推進』

いきいき安心プランⅦ まつどの柱と重点施策

需要の
逓減

計画の柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸

- 就労的活動支援コーディネーター等による多様な就労を促進する
- 通いの場等、住民の主体的な地域活動や社会参加を促進する
- 日々の健康づくりと介護予防・フレイル予防の推進を図る

重点施策：フレイル予防

計画の柱2 多世代型地域包括ケアシステムの推進

- 参加と協働を推進するための社会的支援を推進する
- 認知症の人や若年性認知症の人への支援を充実していく
- 地域包括支援センターの機能強化を図る

重点施策：地域包括ケアシステムの深化・推進

計画の柱3 介護サービスの適正な供給

- 在宅介護サービス等の充実と在宅医療介護連携を推進する
- 地域の実情に合わせた整備を行う
- 介護人材の確保・定着及び資質の向上に向けた取り組みを推進する

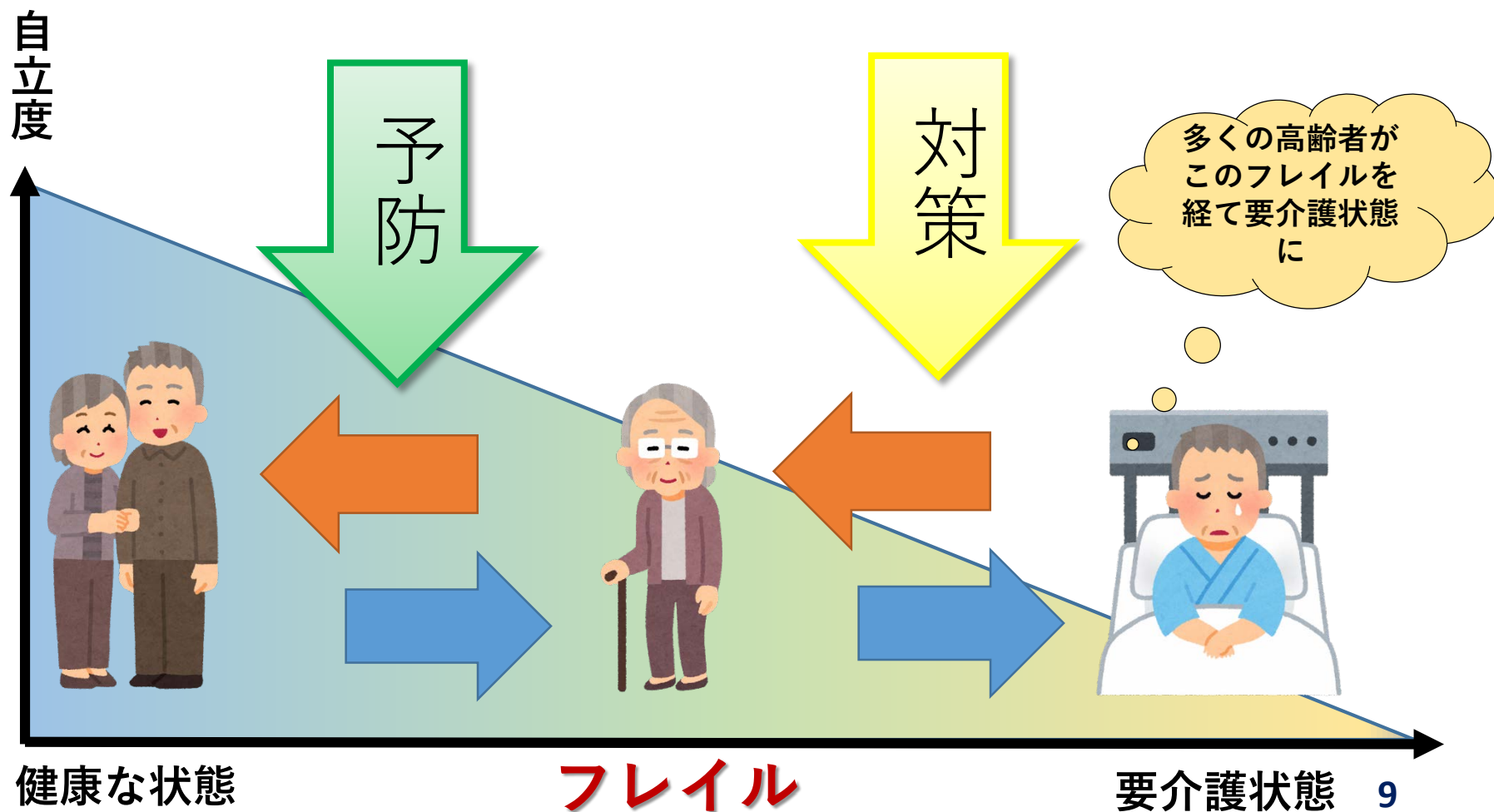
重点施策：多様な主体の確保

供給の
適正化

重点施策1 フレイル予防①

フレイルとは？

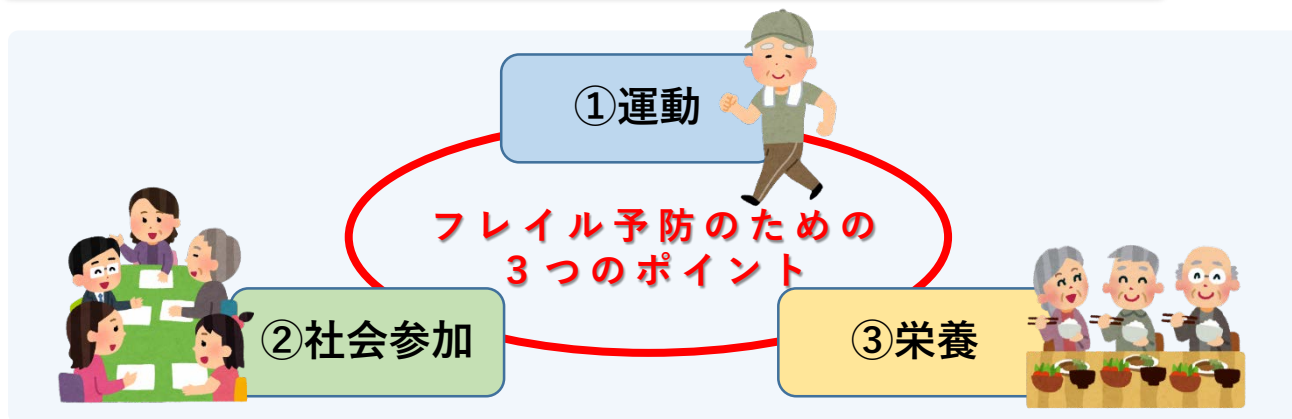
➡ 健康な状態と、介護が必要な状態の中間の状態



重点施策1 フレイル予防②

フレイルを予防するためには？

➡ 早期からの**運動、栄養、社会参加**が重要

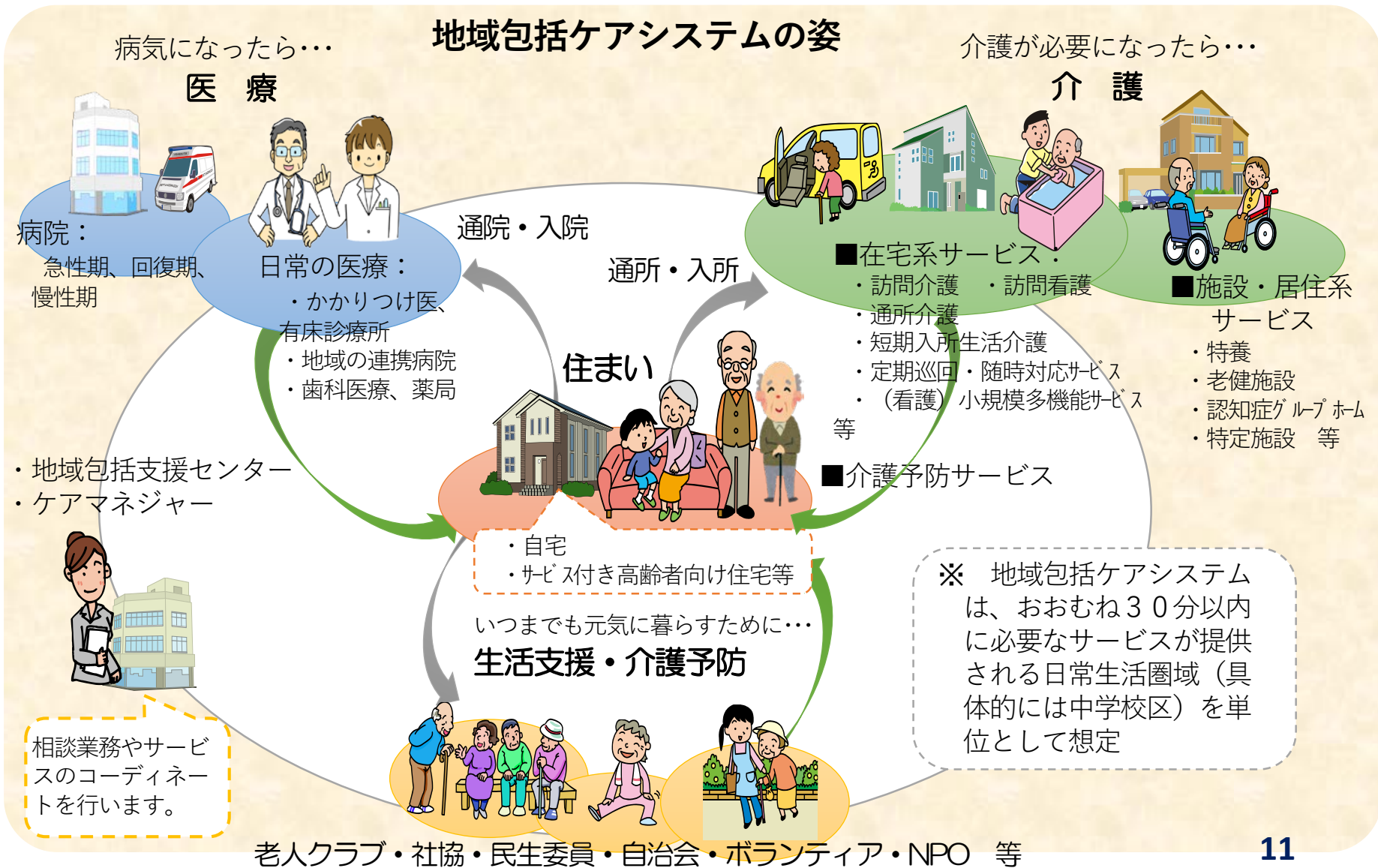


いきいき安心プランⅦまっどでは

- フレイル予防の普及啓発
- 通いの場におけるフレイル・オーラルフレイル※予防の推進
※加齢による口の機能の低下のこと
- 高齢者への個別的支援

➡ **生涯現役社会**の実現・**健康寿命**の延伸を目指す。

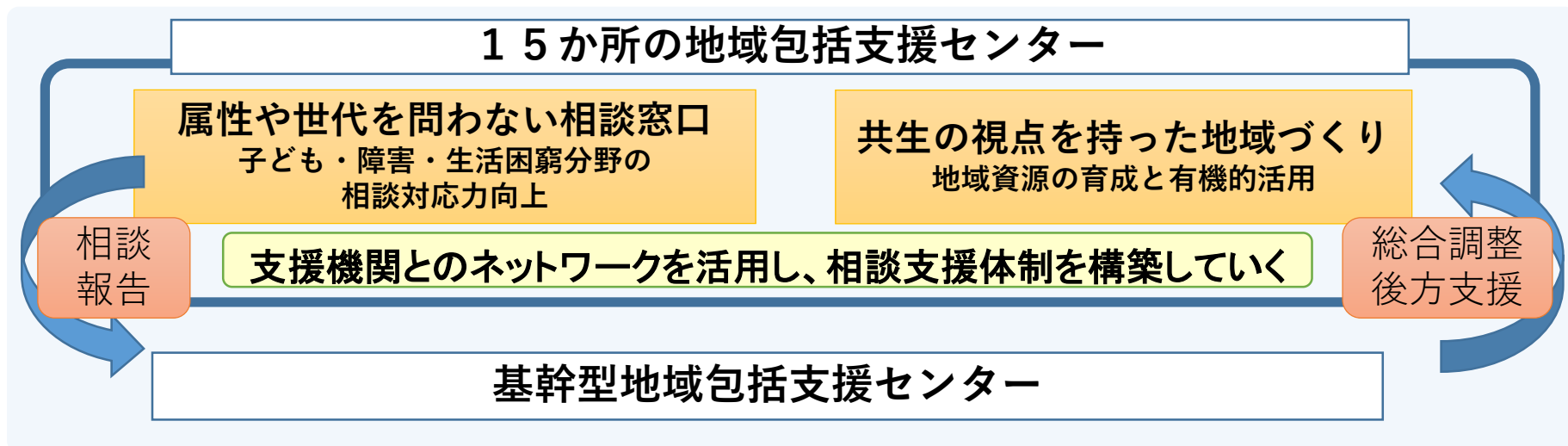
地域包括ケアシステムとは？



重点施策2 地域包括ケアシステムの深化・推進②

どのように進めていくの？

➡ 地域包括支援センターの機能強化



いきいき安心プランⅦまつどでは

- 多分野相談機関との連携強化
- 事業評価を通じた機能強化
- ICTを活用した業務の推進

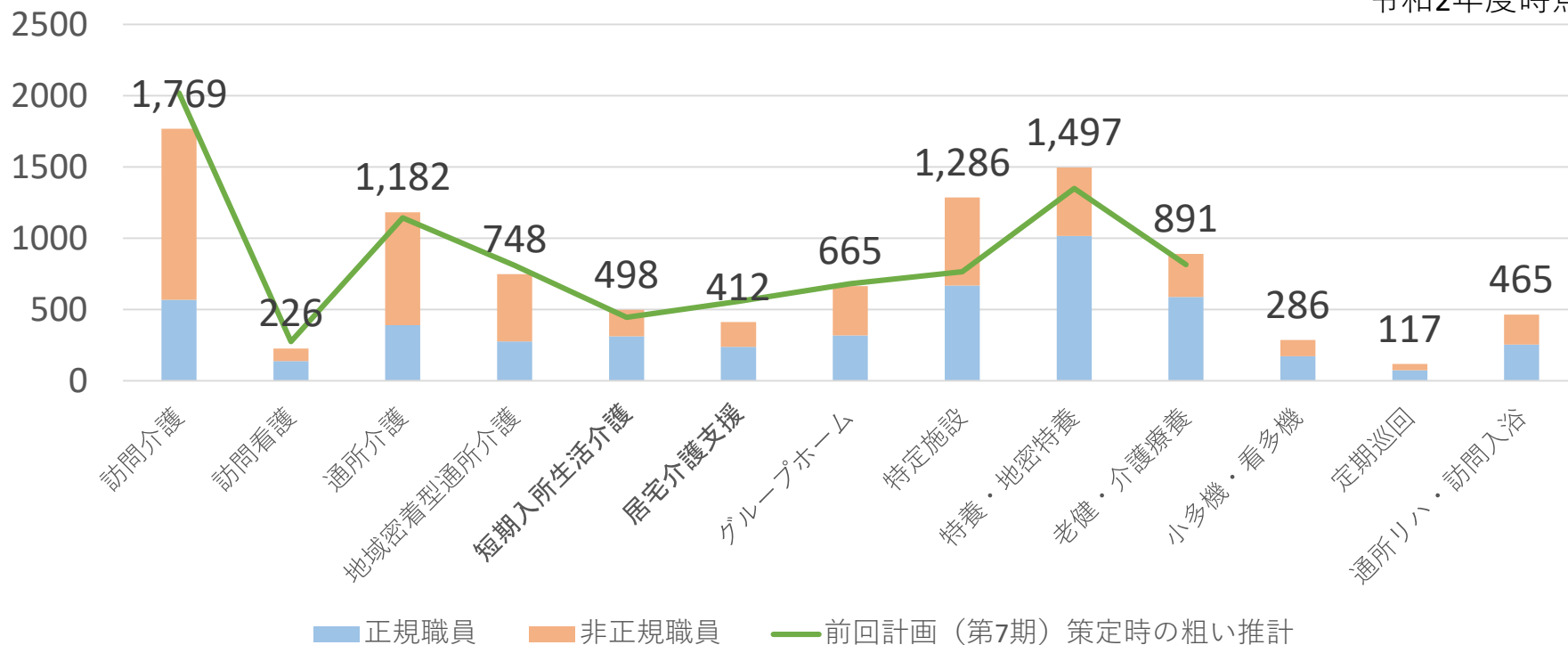
➡ 相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を推進する。

重点施策 3 多様な主体の確保①

松戸の介護従事者の現状は？

松戸市の介護従事者数の現況について

令和2年度時点



本計画に基づいて、介護施設やサービス等の整備を進めていくには、4年間で約**400人**の介護従事者を確保することが必要になると推計しています。

重点施策3 多様な主体の確保②

介護人材不足に向けた対策は？

方策（1）【川上対策】

多様な就労・社会参加を促進
①女性・②高齢者・③外国人

方策（3）【川下対策①】

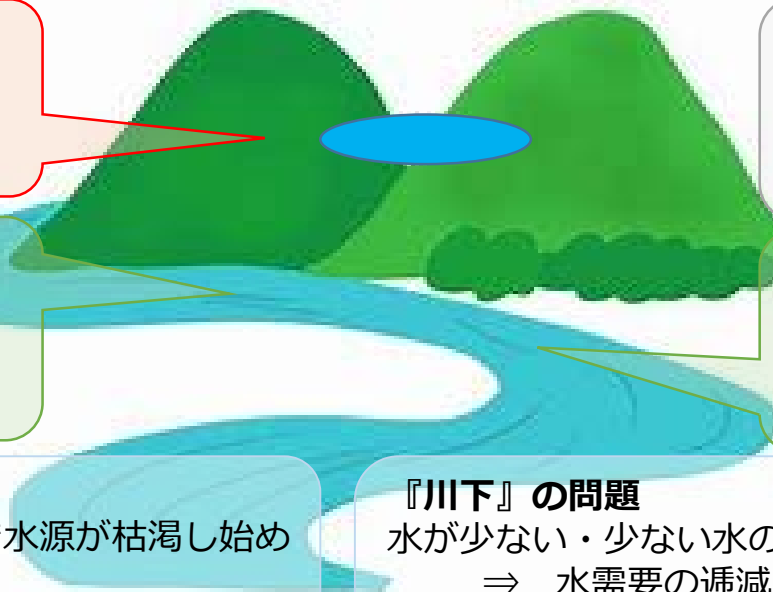
介護現場の環境整備・処遇改善、社会的評価・賃金・就労環境の向上

方策（2）【間接的対策】

介護需要そのものを減少させる
健康寿命の延伸、介護・認知症予防

方策（4）【川下対策②】

介護現場の効率化・省力化、ICT、AI、介護ロボット等の活用



『川上』の問題

水源：下流の水不足は、源流で水源が枯渇し始めている証拠
⇒別の水源の開発：多様な主体の確保

『川下』の問題

水が少ない・少ない水の奪い合い = 介護人材争奪戦
⇒ 水需要の逡減：健康寿命の延伸・介護予防
⇒ 漏水の防止：離職防止 環境整備
⇒ 少ない水（節水）：生産性向上による省力化

※出典：久留善武氏 立教大学講義資料を一部改変

いきいき安心プランⅦまっどでは

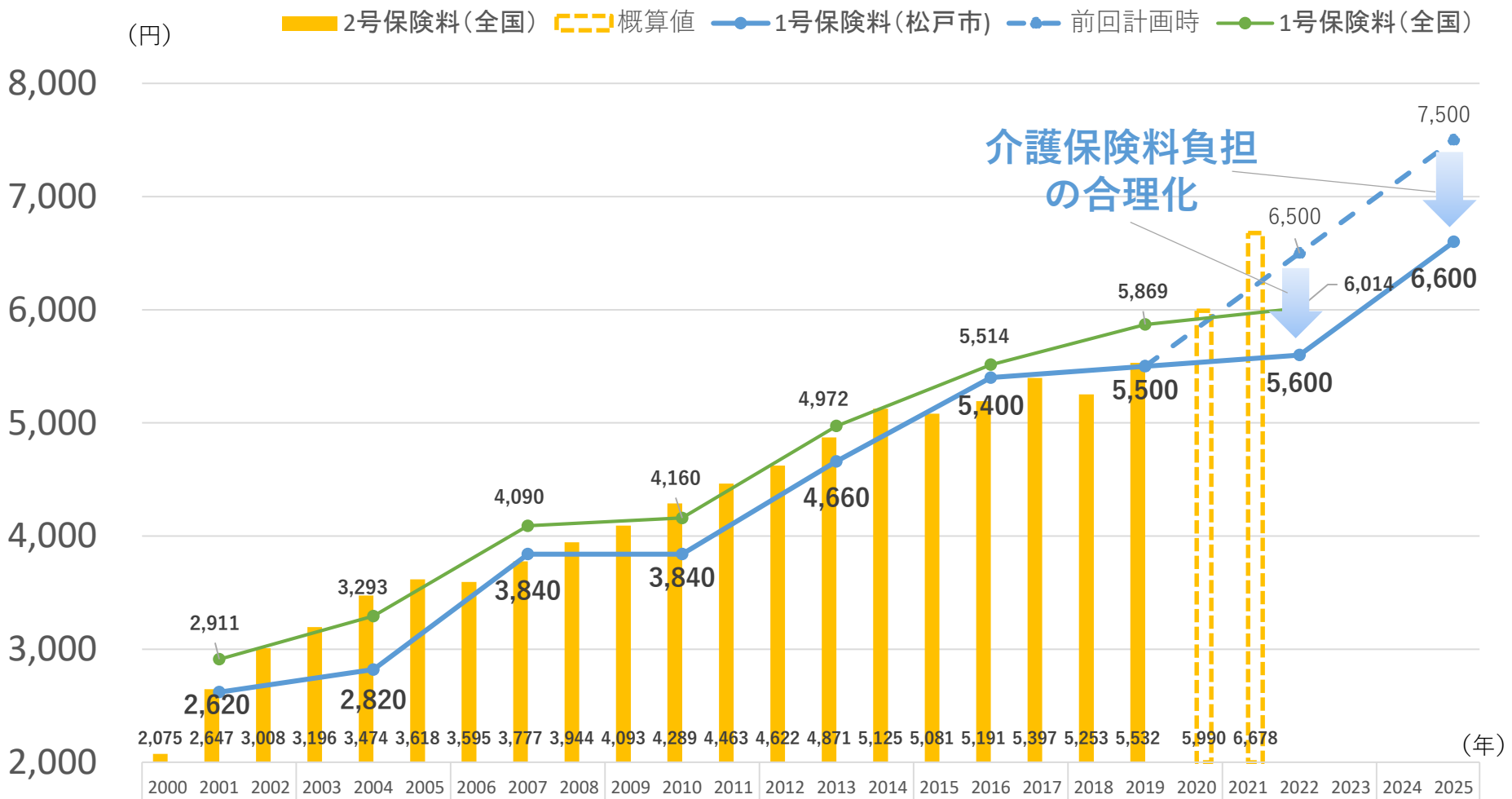
- 多様な人材の参入支援
- 介護人材定着のための取り組み支援と資質公共支援
- ICTを活用した業務の推進



介護サービスの適正な供給を図る。

介護保険サービスの見込量と保険料

高齢化の進展に伴って、介護保険料の引上げが必要となりますが、利用状況やニーズに応じたサービス整備等を通じて、**介護保険料負担を合理化**しています。



負担割合	第1期							第2期							第3期							第4期							第5期							第6期							第7期							第8期							第9期						
	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者	1号被保険者	2号被保険者																													
	17%	33%	18%	32%	19%	31%	20%	30%	21%	29%	22%	28%	23%	27%																																																	

いきいき安心プランⅦまつどの周知

広報 まつど
 2021(令和3)年 No.1698
3/26

いきいき安心プランⅦ まつど特集号
 発行：松戸市 編集／高齢者支援課・介護保険課
 〒271-8588 松戸市原北387-015
 ☎047-366-7249 FAX047-366-0991
 画：https://www.city.matsudo.chiba.jp/
 松戸市住民基本台帳人口 498,376人
 高齢者人口割合 128,540人 高齢化率 25.8%
 2021(令和3)年3月31日現在

高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちを目指して

いきいき安心プランⅦまつど

第9期松戸市高齢者保健福祉計画・第8期松戸市介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)を策定しました

この計画は、高齢者施策に関する基本的方針や目標

介護保険給付サービスの見込み量などを示し、その実現に向けた施策を定めたものです。
 市民や事業者へのアンケート、高齢者保健福祉推進会議からの管申などをもとに策定を進め
 新しい計画がまとまりましたので紹介します。

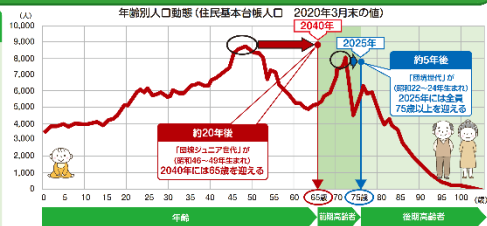


屋外でブランドゴルフを楽しむ市民

市の人口構成(「団塊世代」と「団塊ジュニア世代」の移り変わり)

5年後、20年後のために

右のグラフは、令和2年(2020年)3月末の年齢ごとの人数をグラフにしたものです。
 今後、「団塊世代」全員が2025年に75歳以上、「団塊ジュニア世代」が2040年に65歳になり、2つの山が未来に向かって「2つの大きな波」のように5年後・20年後に絶頂を迎えることが予想されます。
 そのため、将来を予測した取り組みが必要となります。



「いきいき安心プランⅦまつど」は4月から、各支所・地域包括支援センター(高齢者いきいき安心センター)・高齢者支援課・行政資料センターで閲覧できます

いきいき安心プランⅦまつど特集号 ①

YouTube JP

検索



いきいき安心プランⅦまつど(第9期松戸市高齢者保健福祉計画及び第8期松戸市介護保険事業計画)案の概要について

計画周知のための動画の公開